

今すぐできるようにになりたい言語課題は何か。

今のレベルでできること=水平の次元

将来必要となる言語課題は何か。

どこに向かっていくのかを意識=垂直の次元

どのような言語使用者を育成するのか。

社会における理想的な姿を意識



ユニット●の タイトル	ここにタイトルを書く	← 10ユニットのうち、1つを設定 内容のイメージが沸くキャッチーなもの
ユニット●の 学習目標	ここに学習目標を書く	← 10ユニットのうち、1つを設定 コース全体の目標の一部を詳細化
	Can do	パフォーマンス評価
Can do ①	ここにCan doを書く	Can doに対して、どんなパフォーマンス評価を行うかを書く
Can do ②	ここにCan doを書く (この行は必要に応じて自由に増やしてください。)	Can doに対して、どんなパフォーマンス評価を行うかを書く



1ユニットの中の授業のCan doを設定  
参照枠Can doや生活Can doを参考に、  
学習者像に合わせたCan doを設定

ソートやCan do書き換えにチャレンジ



Can doを設定する際に、  
どんなパフォーマンスで評価するのも考えて  
設定

# 参考例

## 【目標とする現実社会の具体的な言語課題の設定】

- 今すぐできるようになりたい言語課題は何か。
  - ・子育てに関する情報(乳幼児健診や予防接種など)を理解できる
  - ・わからないことについて周囲に質問できる
  - ・育児に関する困りごとについて周囲に支援を求めることができる
- 将来必要となる言語課題は何か。
  - ・他の保護者と良好な人間関係を築く
  - ・園や学校の教員と子どもについて意見を交換することができる
- どのような言語使用者を育成するのか。
  - ・社会から孤立することなく、自国で子育てをするのと同様に、地域社会の中で他者との関わりを持ちながら自分らしい子育てをする

# 参考例

## 【シラバスデザイン】

コース名：子育ての日本語

対象者：乳幼児を育てる保護者

コースの目標：

子育ての場面で自分に直接的な関係がある、よく使われる語彙や表現が理解できる。子育てをする中で身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。(A2)

「生活Cando」は生活上の行為(状況・場面・行為)が具体的に示されているため、シラバス設計にも役立つ

シラバス：

ユニット1	乳児検診を受けよう
ユニット2	児童館に行こう
ユニット3	公園に行こう
ユニット4	子育てイベントに参加しよう
ユニット5	入園面接
ユニット6	子どもの病気
ユニット7	保育園／幼稚園の生活
ユニット8	保育園／幼稚園の行事
ユニット9	園の先生と話そう
ユニット10	他のお母さんお父さんと話そう

# 参考例

ユニット1	乳児検診を受けよう
ユニット2	児童館に行こう
ユニット3	公園に行こう
ユニット4	子育てイベントに参加しよう
ユニット5	入園面接
ユニット6	子どもの病気
ユニット7	保育園／幼稚園の生活
ユニット8	保育園／幼稚園の行事
ユニット9	園の先生と話そう
ユニット10	他のお母さんお父さんと話そう

## ユニット6：子どもの病気

ユニット6の学習目標：子どもが病気になったとき、保育園や幼稚園と必要なやり取りをすることができる(A2)

授業① (45分～)	子供の発熱や体調不良などで、保育園や幼稚園の先生からの電話によるお迎えを要請する簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる (生活Cando 290)【聞く】
授業② (45分～)	保育園や幼稚園からくる短い簡単なメールなどを読んで、行事の中止や延期、学級閉鎖の期間や該当クラスなど、必要な情報を探し出すことができる (生活Cando 289)【読む】
授業③ (45分～)	保育園や幼稚園などの連絡帳(又は連絡アプリの該当する箇所)に、子供の体調について心配なことや、お迎えの人や時間の変更などを、短い簡単な文で書くことができる (生活Cando 286)【書く】
授業④ (45分～)	子供が体調不良のときに、どんな対処法を取っているかなどについて、友人に質問したり、答えたりすることができる (生活Cando 232)【話す(やり取り)】

# 生活分野

# 想定する学習者像

今すぐできるようにになりたい言語課題は何か。

将来必要となる言語課題は何か。

どのような言語使用者を育成するのか。

# コース全体の目標

ユニット● のタイトル		
ユニット● の学習目標		
	Can do	パフォーマンス評価
Can do ①		
Can do ②		

# 留学分野

今すぐできるようにになりたい言語課題は何か。

将来必要となる言語課題は何か。

どのような言語使用者を育成するのか。

# コース全体の目標

ユニット● のタイトル		
ユニット● の学習目標		
	Can do	パフォーマンス評価
Can do ①		
Can do ②		

# 就労分野

今すぐできるようにになりたい言語課題は何か。

将来必要となる言語課題は何か。

どのような言語使用者を育成するのか。

# コース全体の目標

ユニット● のタイトル		
ユニット● の学習目標		
	Can do	パフォーマンス評価
Can do ①		
Can do ②		